

『このまちで良かった』みんな輝く 未来共創のまち とだ

# 戸田市 第5次総合振興計画

## 後期基本計画

令和8年度（2026年度）～令和12年度（2030年度）

戸田市





## ごあいさつ



令和3年(2021年)にスタートした戸田市第5次総合振興計画は、早くも前半の5年が過ぎました。この間、私たちは、新型コロナウイルス感染症による混乱、激甚化する自然災害、さらには物価高騰による市民生活への影響など、様々な課題に直面し、社会情勢が大きく変化する中であっても、その都度、解決のため最善を尽くしてまいりました。

こうした中、戸田市では将来都市像『このまちで良かった』みんな輝く 未来共創のまち とだの実現に向けて、多様化する地域課題に対して柔軟かつ迅速に対応するため、後期基本計画を策定いたしました。

後期基本計画の策定に当たっては、市民・議会・行政が一堂に会して意見を交わす協働会議を開催し、戸田市が目指す将来都市像の実現に向け、“今後5年間で目指すべき姿は何か”という視点で話し合いました。協働会議からの様々な提言や、立場は違っても“戸田への愛着を持ってほしい”“もっと良いまちにしたい”という共通の想いをしっかり受け止め、織り込んだ計画を結実することができました。また、本計画には、デジタル技術を活用した市民サービスの向上や、環境への配慮など、未来を見据えた誰一人取り残さない持続可能なまちづくりの考え方も盛り込んでおり、市民・議会・行政の『協働』により、本計画を着実に進めていくことで、将来都市像の実現につながるものと確信しています。

令和8年(2026年)10月に、戸田市は市制施行60周年を迎えます。私たちはこれまでの軌跡を振り返るだけでなく、5年後10年後、その先の未来を見据えたまちづくりを進めていく必要があります。今後は本計画に基づき、これまで培ってきた協働の精神をさらに深化させ、多様な主体が持つ知恵と力を結集することで、戸田市に関わる方々が、より一層「このまちで良かった」と実感できるよう、全力を尽くしてまいります。

結びに、本計画の策定に当たり、協働会議委員の皆様をはじめ、市民や議員の皆様など多くの方々の御支援、御協力を賜りましたことに心から感謝申し上げます。

令和8年(2026年)3月  
戸田市長

菅原文仁

# 戸田市民憲章

昭和54年(1979年)制定

わたくしたちは、豊かな荒川の流れと、  
うるわしい武蔵野の大地をふるさととする戸田市民です。  
わたくしたちは、このまちに誇りと責任をもち、  
夢と希望のある戸田市をつくるため、この憲章をさだめます。

わたくしたち戸田市民は  
心のみがき、体をきたえましょう  
明るくうるおいのある家庭をつくりましょう  
話し合い、助け合いの輪をひろげましょう  
自然をまもり、すみよい環境をつくりましょう  
教養と文化をたかめ、みのりを未来にのこしましょう

# 平和都市宣言

昭和61年(1986年)制定

世界の平和は、人類共通の願いであり、人類生存に不可欠な要件である。  
戦後41年、私たちは一丸となって平和の確立に向かい努力を続け、  
今日の平和と繁栄を築いてきた。  
しかし、世界各地では今なお武力紛争が絶えず、  
核戦争の起きる危険性が高まり、  
人類の平和と生存に深刻な脅威をもたらしている。  
わが国は世界唯一の核被爆国として、  
核兵器の恐ろしさと被爆の苦しみを深くかみしめ、  
全世界の人々にその廃絶を訴え続けていかなければならない。  
ここに戸田市は、平和な未来を築き、次の世代に引き継ぐため、  
市制施行20周年を期して平和都市宣言をする。

## 市章

昭和41年(1966年)制定

市章は、戸田市の“と”と“田”を一体化したもので、「融和・団結」と産業、文化の飛躍的「発展」を象徴しています。市制施行と同時に制定しました。



## ハーモナイズド・マーク

平成5年(1993年)制定

市のシンボルマークとして、市役所を中心としたまち全体のあらゆるアイテムに展開しています。



交流・発展していく  
戸田市の未来像



ふれあう人々の  
あたたかさエネルギー



豊かに流れる  
荒川



戸田市にあふれる  
自然

### 市の花

## サクラソウ

昭和51年(1976年)制定

その昔、荒川流域の戸田ヶ原などにサクラソウが繁殖し春の訪れとともに近郊から多くの人達が見にくることもありました。制定当時は、自然環境の悪化に伴い絶滅に近い状況となっていました。戸田にゆかりの深いこの花を再びよみがえらせ、長く継承したいということから選ばれました。



### 市の木

## モクセイ

昭和51年(1976年)制定

モクセイは常緑樹で開花時期にはあたり一面芳香がただよい、古来から庭園などに広く親しまれている樹として多く植栽されています。植樹や増殖も容易で市民生活の中で身近な樹として、じゅうぶん活用が期待されるどころなどから選ばれました。



### 市の鳥

## カワセミ

令和4年(2022年)制定

自然の中で生きる身近な鳥類が、時代や環境の変化に対応しながら、個体や群れで行う子育て・巣立ちを繰り返して、次世代へ繋いでいく姿が市の魅力とも重なることから、「市の鳥」の制定に至りました。市民を中心としたアンケートの実施により、カワセミが選ばれました。



# 目次

## 第1部 後期基本計画の策定に当たって

第1章 後期基本計画策定の趣旨	2
1 策定の趣旨	2
2 計画の特徴	2
3 計画の構成と期間	3
4 各種計画等との関連性	4
第2章 社会経済環境等の変化	5
第3章 戸田市の現状と市民の意識	9
1 戸田市の現状	9
2 財政状況	12
3 市民意識調査	14
4 協働会議	17
5 総合振興計画とSDGsの関係	18
第4章 人口の将来展望(総人口の推計)	20
1 人口の将来展望	20
2 推計に当たって	21

## 第2部 基本構想

1 将来都市像	24
2 基本目標	25
3 計画推進のために	27

## 第3部 基本計画—後期

1 基本計画・施策体系	30
2 基本計画における施策	31
基本目標Ⅰ こどもが健やかに育ち、いきいきと輝けるまち	34
基本目標Ⅱ 創造性や豊かな心を育むまち	44
基本目標Ⅲ 共に生き、支え合い、安心して暮らせるまち	52
基本目標Ⅳ 安全な暮らしを守るまち	68
基本目標Ⅴ 快適に過ごせる生活基盤が整備されたまち	82
基本目標Ⅵ 都市環境と自然環境が調和したまち	92
基本目標Ⅶ 活力にあふれ人が集い心ふれあうまち	102
3 計画推進のために	113

## 第4部 戸田市国土強靱化地域計画

第1節. 国土強靱化の概要	124
1 国土強靱化地域計画策定と改訂の背景	124
2 国土強靱化地域計画の位置づけ	124
3 策定の進め方と今後の見直し	125
第2節. 地域を強靱化する上での目標	126
第3節. リスクシナリオの設定と脆弱性評価の結果	127
1 リスクシナリオの設定	127
2 脆弱性評価の結果	128
第4節. 強靱化に向けた取組	135
1 具体的な取組内容(アクションプラン)	135
2 第5次総合振興計画後期基本計画の施策体系との関係	143

## 第5部 第3期戸田市まち・ひと・しごと創生総合戦略

1 第3期戸田市まち・ひと・しごと創生総合戦略の基本的な考え方	152
2 地域ビジョン(目指す姿)及び基本目標	153
3 各基本目標における取組	154
第3期総合戦略と後期基本計画の相関図	158

## 資料編

1 第3次戸田市都市マスタープラン	162
2 SDGsの17のゴールと自治体の関係	164
3 SDGsとの相関図	166
4 戸田市第5次総合振興計画後期基本計画策定の経過	168
5 戸田市第5次総合振興計画後期基本計画策定の体制	169
6 戸田市第5次総合振興計画後期基本計画協働会議要綱	170
7 戸田市第5次総合振興計画後期基本計画協働会議提言書	171
8 用語解説一覧	190

